

国際ボランティア学会

ニュースレター NO. 18

2011年11月1日
国際ボランティア学会事務局
〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-2
大阪大学大学院人間科学研究科
人間開発学講座内
Tel & Fax : 06-6879-8064
E-mail: volsocio@hus.osaka-u.ac.jp

1. 第13回大会へのお誘い
2. 第13回大会概要
3. 学会誌の電子ジャーナル化について
4. 第12回隅谷三喜男賞の公募のお知らせ
5. 会費納入のお願い

1. 第13回大会へのお誘い

内海成治 国際ボランティア学会会長

ようやく涼しくなってきましたが、皆様方にはいかがお過ごしでしょうか？

さて、現在、2012年2月25日（土）－26日（日）に国際ボランティア学会・第13回大会を実施すべく準備中です。第13回大会は滋賀県草津市にあります立命館大学びわこ・くさつキャンパスで実施いたします。

分科会における報告およびポスター報告の募集を開始いたしますので、会員の皆様におかれましては、奮って御応募いただければ幸いです。詳細のプログラムについては2012年1月ごろ、改めてニュースレターでご案内いたしますので、何とぞよろしくお願ひします。

このたび、国際ボランティア学会の第13回大会の実行委員長を担当させていただくことになりました。同志社大学在職中の第9回大会に続いてのお役となりますが、今回はこの4月に移りました立命館大学にて、皆様をお迎えさせていただきます。会場となります「びわこ・くさつキャンパス」は、JR京都駅から新快速で約20分、南草津駅からバスで約15分という立地にあります。

今回、東日本大震災を経ての初めての年次大会では、「震災・ボランティア・コミュニティデザイン」をテーマに掲げ、実行委員一同、準備にあたっております。震災とボランティアについては、想像がつくかと存じますが、そこになぜ、コミュニティデザインということばが並ぶのか…。それは、未曾有の災害を通じて、高度情報化・少子高齢社会における地域の開発哲学を、抜本から見直さなければならないという関心からです。思えば、2010年には日本国内で無縁社会と叫ばれてきましたが、今次の大震災を通じて、改めて「絆」の大切さを、まじまじと感じさせられました。

コミュニティデザインとは、地域の資源を活かし、人・物・出来事のつながりを編み直す、現場の営みを意味します。シンポジウム等ではローカルな実践に視点を向けていきますが、その視野はグローバルに広がるものだと確信しております。市民社会の未来を展望する機会にすべく、皆様の発表申込、またご参加を心よりお待ちいたしております。末筆ですが、東日本大震災により亡くなられた皆様の哀悼の意を表しますとともに、被害を受けられた方々に謹んでお見舞い申し上げます。

山口洋典（立命館大学立命館大学 共通教育推進機構 准教授）

2. 第13回大会概要

【日時】2012年2月25日（土）、26日（日）

【会場】立命館大学 びわこ・くさつキャンパス（BKC）

〒525-8577 滋賀県草津市野路東1丁目1-1

TEL 077-561-2617（BKC キャンパス事務課）

JR 南草津駅よりバス約15分

【大会実行委員長】山口洋典（立命館大学立命館大学 共通教育推進機構 准教授）

【テーマ】震災・ボランティア・コミュニティデザイン

【大会スケジュール概要：予定】

2月25日（土）

- 9:30～ 受付開始
- 10:00～12:00 分科会
- 12:00～13:00 昼食休憩／理事会・編集委員会
- 13:00～13:40 総会・隅谷三喜男賞授賞式
- 13:40～ ポスター発表
- 14:00～16:00 トークセッション（公開シンポジウム）＊
- 16:20～18:10 ラウンドテーブル（2本並行）
- 18:10～19:30 懇親会

2月26日（日）

- 9:30～ 受付開始
- 10:00～12:00 分科会
- 12:00～13:00 昼食休憩
- 12:40～ ポスター発表
- 13:00～16:00 大学ボランティアセンター連携フォーラム～震災と学生ボランティア（公開フォーラム）＊
石巻専修大学、岩手県立大学、東北学院大学、明治学院大学、立命館大学、赤澤清孝氏（ユースビジョン代表）などを予定しています
＊は立命館大学との共催プログラムとなります。

公開シンポジウム

東日本大震災はマグニチュード9、15mにもおよぶ大津波が東日本沿岸に押し寄せ、2万人を超える死者行方不明者とコミュニティの壊滅的破壊をもたらした。救援と復興に向けて多くのボランティアが各地で活動を開始した。被害が広範囲にわたっていること、多くの行政機関が被害を受けたことなどから、ボランティア活動も困難を極めた。そうしたなかで、国内外からのボランティアはさまざまな働きを展開した。阪神淡路大震災から16年、この度の大震災後のボランティアはどのような働きをし、どのような課題があるのか、今後の復興や街づくりに関するボランティアへの期待は何か。今回のボランティア活動に深くかかわった方々をお招きして、学会員と市民、学生の方々と共に考える機会としたいと考えます。多くの方のご参加をお願いいたします。

国際ボランティア学会会長 内海成治

公開シンポジウム「震災・ボランティア・コミュニティデザイン」

日時 2012年2月25日(土) 14:00~16:00

場所 立命館大学 エポック立命 21 エポックホール (予定)

パネリスト 辻元 清美 衆議院議員 (予定)

戸羽 太 陸前高田市市長 (予定)

荒井 優 公益財団法人東日本大震災復興支援財団 専務理事
ソフトバンク株式会社社長室

中村 安秀 大阪大学大学院人間科学研究科国際協力学教授

コーディネーター 大西健丞 (ピース・ウィンズ・ジャパン)

報告応募について

自由研究発表およびポスターセッションの応募を開始いたします。自由研究発表では質疑応答も含めて1人20分の発表となります。奮って御応募下さい。応募される方は、2011年11月30日までに、国際ボランティア学会のホームページの大会発表申し込みフォーム (<http://bit.ly/isvs13>) より必要事項を入力し、大会実行委員会宛に送信いただきたくお願いいたします。今回は報告のエントリーで、12月初旬に大会実行委員会で発表種別を決定した後、応募者にお知らせいたします。報告要旨集の原稿作成 (A4用紙1枚) は2012年1月15日締切でお願いいたします。

なお、インターネット環境の事情等により、ホームページの大会発表申し込みフォームにアクセスできない場合は、同封の「発表申込書」を下記の宛先にご送付ください。どうぞよろしくお願いいたします。

【自由発表】

質疑応答も含めて20分の口頭発表となります。

【ポスター発表】

120cm×180cmの枠内に発表資料を提示し、参加者に対して適宜説明し、議論を重ねるポスターセッションです。

【申込書送付先】

メール: volsocio@hus.osaka-u.ac.jp

FAX: 06-6879-8064

郵送: 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-2

大阪大学大学院人間科学研究科 人間開発学講座内

国際ボランティア学会第13回大会実行委員会

3. 学会誌の電子ジャーナル化について

このたび、本会は国立情報学研究所電子図書館事業に参加することになりました。国立情報学研究所電子図書館事業とは、我が国の学術振興を目的に、「日本学術会議協力学術研究団体」の学会誌等の誌面を電子データ化し、同研究所のインターネットウェブサイト上で公開するものです。我が国の学術振興に寄与するためにも、また、本会のさらなる飛躍を図る上でも、国立情報学研究所電子図書館事業への参加は有益であると判断しました。

これによって、国立情報学研究所が提供する論文情報ナビゲーターCiNiiにおいて、ボランティア学研究に収録された論文等が発刊3ヶ月後に公開されることとなります。ま

た、執筆者の所属機関における機関レポジトリにも登録が可能になります。皆様の教育研究・実践に、ご活用頂ければ幸いに存じます。

4. 第12回隅谷三喜男賞の公募のお知らせ

今年度も国際ボランティア学会では、隅谷三喜男賞を以下の選考規定により選考することになりました。

応募様式などは自由です。みなさまからの自薦・他薦の応募をお待ちしております。なお、応募締切期日は2011年12月22日（木）です。

【参考】 隅谷三喜男賞選考規定

1. 名称
本賞は、国際ボランティア学会隅谷三喜男賞と称する。
2. 主旨
本賞は、初代会長隅谷三喜男博士を記念し、ボランティア学研究およびボランティア活動の発展を期して、研究および実践を奨励することを目的とする。受賞者には賞状および記念品を授与する。
3. 対象者
毎年度原則、2名（個人あるいは団体）
4. 選考対象
(1)著作・論文（学会誌掲載論文、およびボランティア学に関する著書・論文）
(2)実践
どちらも、賞の対象となる論文・活動記録を、自薦あるいは他薦により、本学会隅谷三喜男賞選考委員会あてに、本賞に応募する旨を明記して、申し出た者。
5. 選考委員会
本学会理事の互選による5名以内で構成する。選考委員の任期は3年とし、再任を妨げない。選考委員長は選考委員の互選とする。選考委員会は必要に応じて会員の協力を求めることができる。
6. 選考手順
選考委員会は選考を当該年の総会以前におこない、理事会の決議を経て、大会および総会において発表する。

5. 会費納入のお願い

学会運営は、基本的に会員皆様からの会費で支えられております。是非とも、学会の活動にご協力をお願いいたします。また、住所・所属等を変更された場合は、速やかに事務局までご一報くださいますよう、お願いいたします。

2011年度分の会費は以下の通りです。

〔年会費〕 一般会員：5,000円／学生会員：2,000円／法人会員：10,000円

同封の振込用紙をご使用のうえ、お振り込みください。（未納の方にのみ送付）

学会事務局連絡先

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-2

大阪大学大学院人間科学研究科 人間開発学講座内

国際ボランティア学会事務局

Tel & Fax: 06-6879-8064

Email: volsocio@hus.osaka-u.ac.jp

国際ボランティア学会 第13回大会 (2012. 2. 25-2. 26)

発表申込書

【発表申込日： 月 日】

氏名 (name)		
所属 (affiliation)		
連絡先住所 (address)	〒	
	Tel:	Fax:
	E-mail:	

発表題目 (presentation title)	
キーワード (key words : 5つ以内)	
種別* (category)	口頭発表 (oral) ・ ポスター (poster) ・ どちらでも (whichever)
共同発表者 (coauthor (s) : 有の場合には、右記にすべての方のお名前を、ご所属を添えて、ご記入ください。)	

* 大会実行委員会の協議により、カテゴリーの変更をお願いする場合があります。

該当箇所をご記入の上、E-mail (vol socio@hus.osaka-u.ac.jp) あるいは、FAX (06-6879-8064)、郵送 (〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 1-2 大阪大学大学院人間科学研究科 人間開発学講座内 国際ボランティア学会第13回大会実行委員会) で、11月30日までにお送りください。